

平凡な事務 OL だったわたしが、ビジネスで億を稼ぐまでに学んだ働き方改革ストーリー

目次

0 章「プロローグ」	2
1 章「一人行動大好き幼少期」	4
2 章「周りの目を気にし始める小学生時代、ふみコミュニティとの出会い」	6
3 章「学力のピークだった中学時代。好きなアイドル応援のファンサイト制作に取り組む。」	11
4 章「ついに自分のパソコンをゲットした高校時代。ゲームアプリ紹介サイトを運営してコインを稼ぎまくる」	14
5 章「アマゾン出店。バイトより効率の良い世界を知った衝撃とネットショップオーナーの夢を思い描く。」	18
6 章「工場の事務 OL として就職。ブログをきっかけに副業をはじめる」	26
7 章「起業塾に入って本格的にビジネスを学ぶ。結婚して夫婦で独立起業」	38
8 章「無収入の時期も経験・・・ピンチはチャンスで仕組みづくりを学ぶ」	44
9 章「年 5 カ国を旅行しながら毎月 200 ～ 300 万稼ぐ異常な日々。」	51
10 章「平凡で周りの目ばかり気にしていたわたしが変われた 2 つの理由。資本主義の真理。」	58

0 章「プロローグ」

突然ですが、あなたは今の仕事や住む場所、着ている服など全て自分の意思で決めていますか？

どう見られてるかや誰かに強制されてではなく、「自分で決めた」ということこそが、人の幸福度には深く関わっているというデータがあります。

わたしはずっと誰かの期待に応えなきゃ、浮かないように周りにあわせなきゃ、結婚して実家を出て独立するまでの27年間は、ずっとそんな縛り付けられた人生を送ってきました。

手取り 16 万のうち 5 万円を家に入れると残りはたったの 11 万円。

せっかく社会人になったのに、可愛いお洋服を買ったりキラキラしたカフェにも行けない・・・とあらゆることを諦めかけていました。

と同時に、学生時代からずっと信じていた「勉強さえ頑張ればお金を稼げるようになる神話」も、嘘だと気づくのです・・・笑

この書籍では、こんなわたしがどうやって自分の本心で生きられるようになったのか？

何をやれば貧乏マインドを根こそぎ入れ替えて、暇でありながらも当時の年収を 1 ヶ月で稼ぐほどになったのか・・・？！そのストーリーを幼少期から語っていこうと思います。なんの才能もない一般人スタートだからこそその共感ポイントもきっとたくさんあるはずですよ。

そして最後には一般人ならではの「ひっそり稼げるようになるビジネスの作り方」についてもお話ししています。この先独立して自由に生きていきたい全ての人に役立ちますように。

1 章「一人行動大好き幼少期」

物心ついたころには一人行動が大好きでした。保育園ではいつも一人で鉄棒やブロックで遊んでいて、先生や母親からはずいぶん心配されていたみたい。

他の子供たちはグループでおままごとをしたり、砂場で遊んだりしているのに、いつもお迎え時にはいつもひとりで遊んでいるので、いじめられてるんじゃないかと心配したようです。笑

今になって思うのが、なんのしがらみのない幼少期に好きだったこ

と、行動習性はその人の本質を表していることが多いです。人目も気にせず、怒られた経験もないからこそ、本当に自分がやりたいことをやっているのです。

わたしは一人で黙々と何かを練習したり、レゴや粘土などクリエイティブな遊びが大好きでした。他の女の子はみんな女の子らしい遊びをしているのに・・・なんて考えたこともありませんでした。

それは今の仕事のスタイルやビジネスにも通じています。大人数で集まる集会やパーティーなどはほとんどやらなくて写真も撮らず。
笑

少人数で深い話をしたり、アカデミーメンバーが楽しく学べる環境をひたすらクリエイトするのが楽しいなと感じています。

時々ビジネスや自己啓発のセミナーに参加すると、幼少期に好きだったものなどのワークをさせられることがあるがこれは結構良いで

すよね。本来の自分を知れるチャンスでもあります。

人は生まれたときは何にも囚われることがなかったのに、だんだん社会の荒波に揉まれて変わっていってしまうのです。そのため自分のやりたいことがわからなかったり、どうなりたいのか？何が欲しいのか？と聞かれると困ってしまうのだと思います。

2章「周りの目を気にし始める小学生時代、ふみコミュニティとの出会い」

そんな私もさすがに小学生になると、なんとなく周りの目を気にするようになりました。クラスには大きな女子グループがあり、それに入っていない子は変わり者扱いを受けていることに気づいたのです。

自分はそうなりたくないと思い、無理やりグループに入って仲の良いふりをしていたのですが内心はしんどかったなあ。小学 2 年生くらいですでにそんなことを考えていた気がする。笑

女性なら共感してくれると思うけど、この女性ならではの集団行動というのは基本学生時代はずっと続きますよね。下手すれば 60～70 代でもショッピングモールを集団で楽しんでいるおばあちゃんグループも見かけますから。笑

無理に心を合わせるのがずっと辛かったし、同じようにグループがめんどくさいと感じてる女子もいたとは思いますが、口に出したことはなかったのでこれに関しては誰かと共感できたこともなかったです。

ただ・・・うちには Windows95 時代からパソコンがありまして、そ

のパソコンが私の人生を大きく変えてくれたのでした。

小3くらいから父親がいないときに、パソコンでゲームやお絵描きをしていました。笑

こういう操作は子供の方が早く覚えるもので、まだ回線の遅いインターネットで検索をしたりおもしろいゲームサイトがないか探したりもしていました。

検索？というより当時はYahoo! JAPANのトップに登録してあるカテゴリから探していく感じだったような。

大きな転機となったのが、1つ下の妹が臨海学校か何かから帰ってきたときでした。そこで知り合った友達から「ふみコミュニティ」というサイトを教えてもらったのです。その日からわたしたち姉妹は、夏休み中ふみコミュニティの世界にどっぷり浸かることになります。笑

今はなきふみコミュニティとは、小中学生のための悩み相談掲示板

があったり、誰かが作った可愛い画像をもらえたり、リアルタイムで知らない人と会話できるチャットコーナーなどが存在していました。そのチャット機能で相当タイピングスキルが鍛えられたのは言うまでもありません。

ふみコミュニティの魅力はなんといっても同じパソコン大好き小学生と交流できたこと。当時のわたしたちはすでに知ってるサイトにしかいくことがなかったのですが、そこで出会った仲間がおもしろいゲームサイトを教えてくれることで一気に世界が広がったのです。

同時に学校ではいつも疎外感を感じていたわたしが、リアルとは別の世界で人とつながれることにどうしようもない高揚感も感じていました。

自分と同じような人がいるんだ・・・、リアルで友達がいなくてもわたしにはこの世界があると。

こう振り返ると小学生には小学生なりの悩みってありますよね。笑
ふみコミュニティやネット住人たちの存在があったからこそ、一度

も不登校にならずに通えたと言っても過言ではありません。

ただ親の立場からすれば、学校から帰ってきて速攻でパソコンをつけて何時間もよくわからない遊びしているわけで。小学生なのに外で友達とも遊ばず、視力も落ちていくのを見ては何度怒られたかわかりません。笑

わたしにとってのふみコミュニティは、本当にたくさんのことを学んだもう1つの学校でした。小学生でありながらもhtmlを打ち込んでサイト制作もできるようになったし、かわいい素材画像を保存して自分のサイトに埋め込む方法も教わった。おかげで学校のパソコン授業は退屈すぎましたね・・・笑

お金になるわけでもないし、むしろ親から怒られるのに、夢中になってサイト作りに没頭していました。学校では周りの目を気にして無理に友達付き合いをしていたわたしが、唯一本当の自分を表現できる場所。それがインターネットの世界だったのです。

夢中は努力に勝てないとは本当だなと。

当時の出会いが今の仕事にもつながっているのは言うまでもありません。

3章「学力のピークだった中学時代。好きなアイドル応援のファンサイト制作に取り組む。」

そのまま地元の公立中学に進学するわけですが、トップ高校を目指すため中1からレベルの高い塾に通っていました。全国模試で上位5%に入ったこともありましたね。

ごく普通の中学だったので、何度も学年1位を取っていました。が、それでも塾内では自分が一番できてない、自分だけが遅れていると感じることも多く、勉強が得意という意識はありませんでした。

当時の塾のクラスメイトはわたし以外のほぼ全員が京大東大に進学
していて、なんてレベルの高い環境で学んでいたんだ・・・とびっ
くりする反面、【努力だけではなんともならない世界がある】という
のを14歳くらいにして悟りました。

さすがに今はやってないと思いますが、その塾では毎月トップ10
0までのテスト成績が誰でも見られるところに実名で張り出され、
座席も成績順に右前から並べられるという過酷な世界。。。笑

10代半ばからものすごいプレッシャーを与えられることで、成績を
伸ばす人もいますが、わたしはすっかりメンタルをやられ
てしまいました。

中2くらいまではふみコミュニティブームが尾を引いていたのもあ
り、サイト制作に打ち込むことで気分転換をしていました。とある
アイドルの応援ファンサイトをつくってみたり・・・はたまたそれ

を若い塾の先生に見せてアドバイスもらったりもしていました。笑
その先生もネット大好き人間で、「すごいなー、背景はもっとこうし
た方が見やすいで」などと褒めてくれたり、アドバイスくれたりも
して嬉しかったなあ。

アクセスは全然なかったけど、何かを生み出すこと自体がとても楽
しかったです。将来の夢について考える授業でも、ぼんやりとデ
ザイナーや芸術にかかわるなにか、例えばテレビ CM をつくる仕事
とかも楽しそうだなーと考えていましたね。

でも他人の目を気にする病が発動しては、親としては高い塾代を払
ってるわけだから、医師とか弁護士とかお金を稼げてすごそうな仕
事の方がいいんだろうなー、芸術になるとまた違う学校を目指すこ
とになるから言わない方がいいかなあと、子供ながらに考えていま
した。

基本的には真面目そうに見える夢しか、口には出さないようにして

いましたね。

中3の夏になると本格的に受験勉強に専念するため、だんだんインターネットに費やす時間も少なくなっていました。

4章「ついに自分のパソコンをゲットした高校時代。ゲームアプリ紹介サイトを運営してコインを稼ぎまくる」

無事高校への進学が決まりひと段落。両親が満足してくれる学校ではなかったけれど、わたしは実は一番いきたかったところに決まり嬉しかったのです。

というのもこの学校では、入学と同時に1人1台パソコンを購入するところ！念願だった自分のパソコン♪をゲットできて、るるん気分ですら超幸せに満ち溢れていました。

親としては他の学校ならパソコン代を払わなくていいのに、パソコンしてたら勉強ができなくなるからとこの学校にだけは行ってほしくなかったようですが・・・笑

21世紀モデル校という最先端の取り組みも多くて、他にも修学旅行は中国の上海でフィールドワークをしたりと貴重な経験をたくさんさせてもらい本当に充実していました。相変わらず友達はいっぱい少なくて、、陽キャな人が多かったので文化祭とかはちょっと辛かったですw

あれから15年以上経った上海に、いつかもう一度行きたいなーって思います。どう変わったのかな？日本を遥かに超えた国の発展と、完全にキャッシュレスな近未来感をいつか見に行きたいなー。

なんといっても高校からは自分のパソコンがあるので、好き放題インターネットができるのです。ありがたいことにガラケーも買ってもらったので、さらに世界が広がった感じ。ガラケーではすごく流行っていた「モバゲー」というゲームサイトにどっぷりハマって、入学当時は学年で10位ちょっとだった成績がどんどん落ちていきました><

まさに親の懸念していた通りのことになってほんと申し訳ない。笑

モバゲーとはたくさんのミニゲームが用意されていたり、ゲーム攻略について語る掲示板があるアプリみたいなものです。アバターという自分の分身に可愛い衣装を着せたりできるのですが、かわいくて豪華な衣装ほど大量のコインが必要だったのです。可愛いアイテムお洋服にお金をかけたって思うのは、今と変わってないですね。

さらにモバゲー初期時代はモバコインをお金で買うことすらできず・・・友達紹介することしかコインを稼げなかったのです。な

んとしてもアバターにお姫様のようなお洋服を着せたかったわたしは・・・モバゲー紹介サイト作りに没頭するのでした！！！！

最初は身近な友達を誘っていたものの、なんせ友達が少ないし声かけるのも申し訳なく思っていました。

その結果つくったサイト経由で500名以上を招待することに成功し、モバゲー内でそこその富豪になってアバターに豪華なドレスを着せてあげることができました！！！！

これがわたしにとって生まれて初めてのアフィリエイト成功体験です。（リアルでは全くお金増えてないけどw）

とってもシンプルですが、自分が本気でいいと思うものを人に紹介すれば、みんなにとって良いことが起こるんだ！というのを実体験ベースで感じたのでした。

5 章「アマゾン出店。バイトより効率の良い世界を知った衝撃とネットショップオーナーの夢を思い描く。」

お察しの通りネットの世界にのめりこんでいたわたしは、どんどん成績が下がり・・・かろうじて国公立大学に滑り込むことができました。とりあえず大学の学費安く済んでよかったーって感じです。そのおかげで、妹が奨学金に頼ることなく私立理系にいったみたいです。

大学まで行けばようやく勉強の呪縛からも解き放たれて自由だーだーーと思ったのも束の間。わたしほんとに無知で、大学のことなんにも調べてなかったんですね。偏差値や知名度のことしか考えてま

せんでした。

理系って本当に忙しいんです><

絶対落とせない必修科目に、小テスト、休んだら終わりの実験。大学入ってからも勉強勉強の日々。

バイトは3年以上にわたり個別指導塾で働いてたのですが、これも純粋にやりたかったというよりは親からいい子だと思われそう、なんとなく就活受け良さそうって基準で選んでいましたね。

もう20代半ばまでのわたしの行動軸って全部母親なんですよ・・・
小言を言われたくない、嫌われたくない、反抗しちゃだめ。全部それが行動の原点だから、自分の意思で何か始めることもなければ、就活もバイトも面接でも「わたしって自分の意見がないなー」となんとなくは思っていました。

でも今更どうすればいいのかわからない。今でもまあまあ普通に生きてるし、考えるのもめんどくさいからすごそうに見えるやつで
いっかーみたいなの。

特にずっと実家に住んでたから、家族に嫌われたら私の人生終わり
だーってほんと強迫観念というか洗脳状態になってましたね。

というのも家が裕福ではないのに、わたしのためにたくさんの塾代
や大学の費用を出してもらってることにずっと負い目がありました。
それなのに高校も大学も第一志望に落ちてしまって・・・本当に何
もできないダメ人間だからせめてもの真面目そうな雰囲気を出して
いかなければみたいな。笑

(いわゆる真面目系クズ代表の考え方ですよ。)

バイトを始めたり、地方から出てきた子と出会ったり、ぐっと世界
が広がってきた大学時代でさえも、唯一自分が安心できたのは変わ
らずインターネットの世界でした。

ケータイ小説を書いたり、ブログをやってみたり、本当にいろいろやっていたね。

ネットでお金を稼ぎたいというよりは、唯一本当の自分を表現できる場所で認めてもらえることがすごく嬉しかった。作品に対していいねやコメントがもらえると単純に嬉しかったし、それがつくった自分じゃないからなおさらだった。

家でも学校でも感じていた息苦しさから、逃れられた時間ででもありました。

そんなある日、クラスの男子が「アマゾン」というネット通販で教科書を買っているということを小耳に挟んだのです。大学の教科書ってめちゃくちゃマイナーで、なんなら教授の本を買わされたりするじゃないですか。大学生協でもすぐ売り切れて買えなかったりするんですよ。

しかもアマゾンで買くと、中古の教科書が（多少書き込みはあるが）定価よりも安かったり、さらには自分でも中古の教科書を売ることができるというのです。

早速わたしは大学 1 年のときの教科書や、大学受験の参考書をアマゾンに出品しまくりました！すると・・・たったの数時間でどんどん売れて数万円の収入を得ることができたのです。

これはびっくりしましたね・・・塾のバイトは 1 コマ 80 分働いて 1,800 円くらいだったので、3 万円稼ごうと思ったら 17 コマ。大学の授業も忙しいので、これだけ稼ぐには 2 週間はかかります。それがアマゾンだとたったの数時間で稼げてしまうとは。

このとき初めて世の中の「ゆがみ」を体感しました。バイトしなくていいやん・・・というか時間って平等じゃないやなって。2 週間働いてようやく得られるお金が、たったの 1 時間出品に使うだけで稼げた。浮いた時間の分、遊んだり勉強したりできる。これは時間

の使い方考えないとなーと。

お金持ちほど時間があるという本質にほんのちょっと近づくのですが、ちゃんと理解するのは28歳くらいになってからでまだまだ先の話。

今ではメルカリでいらないものを売るなんてごく当たり前の時代になったので、よりビジネスに気づきやすくなったのかもしれませんが。

当時はうちの親はアマゾンという意味のわからないサイトで物を買うことに非常に抵抗を示していました。「教科書はちゃんとしたところで買いなさい」と注意されたので買いはしませんでしたけど・・・めちゃくちゃ売りまくってしました!!!笑

自分の教科書を全て売り捌いたら、妹や友達の部屋の掃除を手伝ってはいらない教科書を引き取って売りました。その子たちからすれば掃除してくれていないものまで持って行ってくれるいい人です

よね。笑

これがわたしにとって初めてのスモールビジネスでした。

とはいえ売る教科書がなくなればこのボーナスタイムは終了してしまい、普通にバイトに励み就職することになるのですが、いつかネットショップオーナーになれたらなという夢もできました。

何売りたいかはまだわからないけど、自分がオーナーなら好きな商品を並べて、かわいいサイトもつくって、毎日が幸せそうだなあって。

ちなみにですが、アマゾンの存在を教えてくれた同級生の親は開業医でいわゆるビジネスオーナー。親からのお金の影響ってかなりのウェイトを占めてるんだなと思います。2010年時点ですでに、ネットでものを買うことに抵抗なかったことが象徴してます。

お金の話、稼ぎ方の話って学校では教わらないので、やはり親から

の影響が大きい。

親が金持ちなら別ですが、そうじゃなくてもっと稼ぎたいのであれば、大人になってから自分で情報をとりにいく、自己投資をして学ぶしかありません。起業する人は親も自営業というパターンがすごく多いのですが、これは無意識のうちに幼少期から植え付けられたマインドも影響してるんじゃないかなと思います。

なので、わたしのように普通のサラリーマン家庭に生まれた人は、より自分の常識を疑ってかかった方がいいかもしれません。そして新しいものを素直に受け入れる柔軟さも。

当時大学生だったわたしはそこまで考えることはできず、なんの自己投資もしてなかったため、普通に新卒就職します。

ネットニュースで見た「大学生起業家」という存在に憧れつつも、

わたしはそんな陽キャでもないし、友達にバレるのも怖いし、そもそもなにからやればいいのかわからないしと言い訳をしてはなににも行動できませんでした。

やっぱり自己投資をしてちゃんと学ばないと、どれだけ資本社会の本質に近づきかけてもチャンスを失ってしまうのかもしれない。

6 章「散々な就職活動からの事務 OL として働き始める。ブログをきっかけに副業をはじめてみる。」

ネットの住人だったわたしはリアルな人間と話すことに本当に慣れておらず、就活の面接は散々でした。

Facebook で友達が大手企業に内定したのを見ては、落ち込んで泣いていました。なんでわたしはダメなんだろう。典型的な周りと比較

して気にするタイプですね・・・笑

自分で自分の良いところに気づいてあげなきゃいけないのに。自分のこと全然大事にしていませんでした。インターネット大好きだったので IT 業界も考えたりしたのですが、新しい業界は不安定だと言われて諦めてしまったり、世間的によく思われそうな銀行保険に就職すべきとか、本当に薄っぺらい思考しかできていませんでした。

それどころかずっと真面目に勉強してればいい会社で働けるって聞いてたのに！その子よりわたしの方がちゃんと授業も受けてたのに。と怒り狂っていましたから。笑

ちょっとは自分の頭で考えることをしないのか？と思うのですが、そのときのわたしは学歴主義という考え方に凝り固まっていました。受験も就活も 1 つでも失敗したら、もう幸せのレールから外れてしまうんだってそんなふうに思っていました。実際そんなことは全くないですが。

就活の面接のたびに言われたのが「筆記試験の成績はかなりよかったですよ」

まあ塾でバイトしてたのでね。でもその言葉が「あなたお勉強はできるけど、採用したいほどの人間性ではないね。人間力が大事だよ。」とされているようで辛かった。それほど就活に疲弊して、性格まで捻くれてしまっていたのだ。笑

とはいえそんなわたしをたったの1社だけ採用してくれたのが、5年勤めてた産業用ロボットの会社でした。その工場で事務の仕事をしていました。

仕事内容は高校生でもできるようなもので、来客対応からコピー、ゴミ出し、勤怠管理など。先輩を見ている限り仕事内容もこの先変わるかなさそう。職種的にも手取り16万からスタートして、

それが月30万を超える日は一生訪れないだろう。それに気づくと急に恐ろしくなったのです。

でもね・・・特に学生時代に勉強をがんばっていた人たちってずっと信じてたわけじゃないですか。学歴さえ良ければ、真面目に勉強をがんばっていれば、お給料の高い会社で働けるんだって常識を。

でも現実のわたしは手取り16万円の薄給OLをやっていて、想像していたものとは程遠い。今まで幸せになれると信じていた常識が嘘だったんだ・・・きっと本質は別のところにあるんじゃないかってやっと気づき始めるのです。

それでも5年間働けたのは、職場の人間関係が良かったからですよ。あの頃一緒に働けた人たちにはずいぶん良くしていただいて、本当に感謝しています。

面接がトラウマだったので、また面接を受けると思うと恐ろしすぎて転職するという選択肢もなく。転職先でも人に恵まれるかどうかはわからないという恐怖から、働ける限りはこの会社に居座るべきなのかなあとも考えていました。

実際はただ新しい一步を踏み出すのが怖くて、きっとこれ以上いい環境なんてないのだと言い聞かせていただけなのですが。

とはいえ会社はど田舎で、徒歩圏内にコンビニもない。バスも 1 時間に 1 ～ 2 本しか来ない。都会大好き、ファッション大好きなわたしにとって辛かったのは間違いありません。ど田舎にぽつんとある工場勤務で、一度しかない人生の大半を終えるのか？そればかり考えるようになりました。

そのうっぷんが副業に向いたのかとご想像かもしれないが実は違い

まして。玉の輿狙い大作戦が始まるのです。

できるだけ若いうちに婚活して、お金持ちと結婚するしかこの人生脱出する方法ないぞー！となるのです。どこまでも他人任せの人生、依存がやばい。笑

「類は友を呼ぶ」の法則で、他人に依存しがちな女子が集まっては、合コンや婚活パーティーに参加しまくっていました。が、当然凡人で大した美人でもないわたしはモテるはずもなく。どうすればいいんだろう、と思ったわたしは書店で恋愛本を買いまくっては勉強→実践を繰り返していました。

最初はなかなか本の通りにやっても上手くいかなかったのですが、だんだんコツを掴めたらそれほど見た目やスペックは変わってないのに好きになってくれる人が増え、少しずつ自分に自信がついてきたのです。

それと同時期くらいに、社会人1年目から趣味で始めたアメブロに、PR 依頼が舞い込むようになります。今で言うインフルエンサーPRの走りのようなもので、時にはハイブランドの香水をいただいたり、無料で新しくオープンしたレストランに招待されたこともありました。

アメブロの OL ブログランキング上位になると、本当にいろんな仕事が増え、それ以外にもブロガーオフ会やブログコンサルなども開催するようになりました。元々がネットオタクだったので、こんな楽しいことで稼げるならもっともっとがんばりたいと自然にいろんな挑戦をするのです。

それまでのわたしは超節約思考で、ブログの発信内容も最初は節約・貯金について書いていたのですが、だんだんお金は自由に稼げることに気づくのです。

有名ブランドに似たプチプラを買っても、やっぱり本家とは違うな
ー買っても結局ほとんど着ないし。やっぱり少し高くても本当に大
好きなブランドのお洋服を買えるようになりたい！もっと可愛いカ
フェにもいっぱい行きたいし、旅行もしたい！そのためにもっとが
んばろうとモチベーションも上がっていきました。

なによりブログの世界には、実際にそんな人生を叶えている人もた
くさんいて、わたしにもできるかもしれないと勇気を与えてくれま
した。

アメブロを初めて 3 年ほどたった頃には、いくつかの仕事を合わせ
ると月 10 ～ 20 万くらいはコンスタントに副収入がありました。

そして忘れもしないとある合コン。そのときの男子メンバーは誰も
が知る大企業勤務。私の会社名を言うと「全く聞いたことないなー」
とバカにした態度をとられイラっとしたのだけは覚えている。笑

4：4で雑談していたときにボーナスの話になったのです。

その彼が、「今回ボーナス100万以上あったわー」と酔った勢いで
自慢していたときふと思ったのです。

あれ？そういえばわたしも副業でそれくらい稼げてるなあ。しかも
楽しい好きな仕事で。

「あ、わたし玉の興狙うんじゃないくて、自分で稼いだ方が早いな」
って。お金のために嫌な人と過ごすなんて、わたしには無理だって。
笑

なので、当時それに気づかせてくれた合コンにはほんと感謝です。
どんなところでどんな学びがわからないので、フットワーク軽かつ
た自分も褒めたい。笑

だんだん場数をこなすうちに、わたしは陽キャでもないし合コン向いてないなーというのにようやく気づきまして。そこからは年収やスペックにこだわりすぎず（全く見ないわけではないけど）、会って話した時のフィーリングを大事にするようになりましたね。

効率性を求めて婚活アプリをメインに使うように。初めて使ったのは 2015 年くらいかな？そこで今一緒に会社をやっている主人とも出会います。

やっぱりわたしにはネットを介した、狭く深くって人間関係の方が向いてるみたいです。

一方ネット世界で数多くのブロガーさんと交流する中、恋愛コンサルたるものを仕事にしている人の存在を知ります。わたしがせっせと本で読んでた内容をブログに無料公開している人がいると。特に

瀬里沢マリさんと方のブログがおもしろくて興味を持ちました。

さっそくマリさんの ZOOM セミナーを受けてみると、やっぱり直接教えてもらってすごいいって思ったのです！恋愛本をたくさん読んできたし、だいたい知ってることだろうなーみたいに高を括ってたのが信じられないほど、言われたことをやってみると効果抜群でした。

というのも当時のわたしは、会社員に副業にと忙しかったこともあり、今の主人と付き合っているときに最悪な態度をとってしまっていて愛想尽かされかけてたのでした。

マリさんに出会ってなければ今の私はないかもしれません。言われたことを実践すると、それまで LINE の返信が途切れがちだった彼の方から旅行に誘ってくれて、直接専門家から学ぶってすごいなーと感動しました。

と同時に今後の働き方について考えていたこともあり、わたしも彼女みたいに自由でかつ、誰かの役に立てる仕事ができたらいいなと思うようにもなりました。

ちなみにマリさんは当時 NY 在住でありながら、オンラインで日本人女性に恋愛のアドバイスをされていたのですが、久しぶりに東京へ帰ってきたタイミングで個別コンサルを募集されていたのです。会ってお礼を伝えたい一心で、生まれて初めて特定の誰かに会うために京都から新幹線で東京に行きました。

でももう恋愛で相談したいことはなかったので、どうやったらマリさんみたいな働き方ができるのか相談させていただきました。交通費とコンサル代合わせて10万くらいかかったけど、この経験はそれ以上の価値があったことは間違いありません。そこで起業するにあたっておすすめの本やブログを教えてもらい、読み漁る日々を送るのです。

だいたいこう言うお金の使い方って価値があるかどうかは使った後にしかわからないけれど、お金持ちになるためには常識と異なる選択をすることなんだと教わった気がします。

副業で稼いだお金をひたすら貯金するという道もありましたが、自己投資や欲しいものにどんどん使うほどに人生の可能性が広がっていく感じが幸せでした。使うと増える、とお金持ちの人がよく言っていたけど、使ってみてその意味が少しだけわかってきました。

7章「起業塾に入って本格的にビジネスを学ぶ。結婚して夫婦で独立起業」

お金を使うと付き合う人が変わり、見られ方も変わる。そして自分に対するセルフイメージも変わるので、稼げる金額や提示できる料

金もどんどん大きくなっていきました。

そのきっかけとなったのが女性限定の起業塾です。そこで初めて自分のオリジナル商品、高単価サービスをつくって売る、案内ページの書き方などを教えていただきました。なにより主催者である鈴木実歩さんに自分の存在を認知してもらいたくて、とにかくその講座期間内に大きな成果を出して報告するぞ！というのを自分の中で目標にしていました。

まず実歩さんのようなロールモデルとなる女性に出会えたことがすごく嬉しかった・・・だって工場で働いていた頃は、この人みたいになりたいなあと憧れたことはなかったから。目標としたい人に出会えて話せて、認知までしてもらえた！内容もさることながら、それ自体が講座に払った価値だったと思います。

元々節約 OL ブLOGGERという触書きでブログを書いてただけに、4

0万という塾に入ったことはかなりの賛否両論を生んでいました。

笑

そりゃそうだ、急に相羽みうがおかしくなったぞと書き込まれたり、

起業塾のレポを書くたびにフォロワーが激減したり、明らかにコメ

ントがつかなくなったり。

それでも自分がいいと思うものだけを紹介し続ける、というのは変

わらなかったし、自分のやるべきことに集中しようという気持ちを

大事にしていました。

全くもってその通りで、そのとき離れていったフォロワーさんの中

には3年、5年経って産休のタイミングでわたしのところに来てくれ

たという方が何人もいらっしゃいます。働き方について考えるタイ

ミングというのは人それぞれなのです。

鈴木実歩さんが本当に素敵な方で、大きな成果報告したわたしのことをFBなどでたくさんの場所で紹介してくださいました。そのおかげもあって単価2万円のセミナーに60名以上が参加してくれたり、副業でありながらも余裕で月100万以上を稼げるようになりました。

とはいえマンパワーで働いていたので体力はズタボロ。週5で会社員をやりながらの副業生活で、何ヶ月も休んでいなかったのも20代とはいえ疲れてきました。常に集客や新しい企画のことを考えているため、次も上手くいくだろうかというプレッシャーを感じるようになってきました。

副業で100万いったなんていうと一見すごいように聞こえるかもしれませんが、稼げるようになってからは100万から落ちる恐怖

の方が怖かったです。元々が人目を気にするタイプのため、ちょっとでも稼げなくなると落ちたと思われるんじゃないかとか、SNSの投稿頻度が下がるとランキングが落ちてしまうという不安に晒されていました。好きなことでお金を稼げるようになったにもかかわらず、それすら自由にできなくなってしまった恐怖でもありました。

それに毎月60名も集客しつづけるというビジネスをこの先も続けられるだろうか？いや普通に無理だ。笑

というかわたしってそんな有名になりたいんだっけ？お客さんが増えるにつれて1人ひとりと話せる時間もずいぶん短くなってしまった。昔はブログコンサルで1人と1時間以上も話して、深い悩みを聞いたりしていたのが楽しかったのにな・・・。

確かにSNSではたくさんのお客様と並んだ写真をアップするとウケ

は良い。人気あるんだなーというのが一目瞭然なのでさらに人も集まってきます。でもわたしはそういうのが好きなタイプでもないの
でストレスも大きかったのです。

体力的にも精神的にも疲れて少し休みたくなったので、27歳の結婚するタイミングで会社をやめました。心機一転仕事とプライベートをリセットしたかったのもあります。

といっても、最初は月100万稼いでもやめるのが怖くて、転職を考えていました。とある大手IT企業に応募して最終面接までこぎつけたものの、「今されている副業をやめるなら採用です」と言われたので辞退した。

学歴的にも新卒では絶対に入れないようなすばらしい会社だったけど、今はそれよりもこのブログ、副業を手放すなんて絶対に嫌だっ
て思ったのです。想像以上に自分のビジネスを愛していたことに気

づきました。

8章「無収入の時期も経験・・・ピンチはチャンスで仕組みづくりを学ぶ」

そんなこんなで会社をやめた感想は、ついに独立起業したぞーーー
ーーっていうよりは、結婚と引越しと新しい学びを同時にしていた
のでかなりバタバタ。実家を出て会社も辞めたことで、一気に環境
を変えたのはよかったです。

独立してからの日常は、毎日やることが決まっているわけでもない
ので、とにかく起業家やフリーランスの人とたくさん会っていまし

た。話を聞いたり、一緒に過ごすことが一番手っ取り早く起業家マインドに染まることだと思ったので、意識して自分の環境を変えるようにしていました。

ただ相変わらずブログ読者は激減していました。副業ということで仲間意識を感じていた人も多かったのでしょうか。

セミナーや企画をブログで募集すると、毎回すぐに満席となっていたのがだんだん集客できなくなっていったのです。今までは副業でやっていたからよかったのですが、夫婦2人とも会社をやめた状態で集客できないのは、相当やばいと危機感を感じました。笑

紹介のおかげで集客できていたのを、自分の実力と勘違いしていたこともあり、せっかく独立したのに心は全く自由ではありませんでした。

独立してる人ってみんなどうやってるの？

みんなが一生集客に追われているの？

この世にはそんなに忙しそうじゃないのに、なんなら南の島でのんびりしながらも数百万円を稼ぎ続けている人が存在します。

一体何をしているんだろう？おそらくコンサルやセミナーとは、また別のステージの働き方があるんだろうな、というのだけはぼんやり感じていました。

例えばホテルだって 1 泊 5,000 円で泊まれるところがある一方で、1 泊 5 万の高級ホテルもあります。でも値段が 10 倍になったからといって部屋が 10 倍広いわけではない。全く別の部分に価値を感

じて、お客さんは5万円というお金を払ってるわけです。

このホテル説と同じで、1000万稼ぎたいからセミナー10倍の数こなすんだ！みたいなことではないんだろうなと。

大学時代、アマゾン転売で時給の概念が吹っ飛ばされたように、また今の常識を吹っ飛ばす時期がきたんだろうな、そう思いました。

まさにピンチはチャンスです。そのまま集客できちゃってたら、絶対にこんな新しいステージの発想は生まれませんでした。

そんなときにご紹介で出会ったのが海江田さんという方で、「集客の仕組みづくり」を教わりました。いろいろ個別で教えてもらったこともあるのですが、海江田さんのサービス提供システム自体がかなり画期的でした。

それまでわたしは直接教わる形式のサービスしか受けたことがなか

ったのですが、海江田さんのサービスでは動画講座形式で学べたのです。自分のペースでどんどん次に進んでいける、これがわたしにはとても合っていました。

空いてる時間は何度も繰り返しその動画講座を見て、実践してみてもわからなかった部分だけを質問する。お互いに効率良すぎる仕組みで驚きました。

もちろん個別コンサルという形式にこだわるのも1つの正解だと思いますが、わたし自身が、自主的に学ぶ動画講座＋コミュニティ形式で大満足したのが、今やってるアカデミー運営にもつながっています。

なによりそこに参加している人の質が、これまでの講座とはまた一段階違いました。ホテルと同じで、価格に比例してその場所にいる人のレベルも圧倒的に異なるということを実感しました。環境を変えるって本当に大事なんですね。

海江田さんからは本当にいろんなことを学びました。学び方の姿勢や、どれくらいのレベルで言われたことを実践するか、行動スピード、お金のマインド。

彼自身も元々は会社員だったので、そこからどのように人生を変えていったのかということとはとても勉強になりました。

私たち夫婦揃って、お気に入りのフランクミュラーの腕時計を買ったのも海江田さんの影響です。その時計を見るたびにこれからがんばろうと思えるし、子どもの頃からフランクミュラーの時計に憧れていた主人の夢を共に叶えることができたのもとても嬉しかったです。

自分の欲に正直であること、より多くの人に価値を届ける方法、人

の育て方。言葉で教えてもらうこともあれば、行動を見て学ばせていただくことも多かったです。

独立起業してから思うのが、昔の私が工場という小さな世界に留まっていただけで、この世にはいくらでも憧れの人は存在するということ。まずはそんな人を1人でも見つけることが、がんばる原動力になるのかなと思います。

仕組みを作っている期間は、セミナーもお茶会やりませんでした。目先の小銭を拾うよりも、長期にわたって売上をもたらしてくれる仕組みづくりに集中していました。1つ目につくった仕組みではなかなか売れないという苦い経験も乗り越えながら、繰り返し仕組みを改善するごとに・・・売上も爆発しました！

今では仕組みの力で稼いだお金をさらに再投資すべく、広告を売っ

たり、外注さんを雇ったり、金融投資にも力を入れています。

9 章「年 5 カ国を旅行しながら毎月 2 0 0 ～ 3 0 0 万稼ぐ異常な日々。」

間違いなく、仕組みをつくってからのわたしたちの日常は一転しました。ほぼ毎日のように何かしらの商品が売れ、売上通知メールが届きます。

「あ、今日は 5 0 万の商品が 2 つ売れたなー」「今日は 1 0 万の商品が 2 つと 5 万の商品が 1 つ売れたのかー」という具合です。

ほんの少し前に抱えていた悩みは、関わる人と環境を変えたことで
いとも簡単に解決できたのです。

自分がかんばらないから売上が上がらないとか、自分のモチベに左
右されてしまうなどとは全く無縁の世界を生きています。今月は
SNS 投稿をかんばれなかったからダメだったーと、できない自分に
落ち込む必要ありません。

起きる時間も働く時間も、何にも縛られない日々です。

当然ながらコンビニやスーパーでの買い物は全く値段を見なくなり
ました。わたしは大好きな海外旅行を思う存分楽しんだり、インス
タで見た可愛いハイブランドのバッグを思ったら即購入したり。

主人は深夜4時から始まるヨーロッパサッカー観戦を毎日のよう
に楽しんでいます。

仕組みを持つ前にも 100万、200万と稼げた月はありませんが、
また来月も稼げるかわからないからお金を自由に使えなかったり、
精神的な不安でいっぱいでした。

稼いだ金額ではなく、どんな働き方をもって稼ぐかが大事ということ
です。

結局大きな金額を稼いだとしても、精神が不安なら本当の自由とは
いえません。一度きりの人生、全てを忘れて旅行や遊びを楽しみた
いと思いませんか？

ちょっと友達とお茶をするノリで東京や博多、名古屋にも行きます
し、時間とお金の余裕ができてフットワークが軽くなるからさらに
経験値が増えてという良いスパイラルが生まれていきます。

人生の岐路に立つたびに、何度も感じるのがやはり類友の法則の大

切さです。自分が稼げるようになることで周りの人も変わっていき
ました。今仲良くしてくれているほとんどのお友達が、自分のビジ
ネスで独立起業していて時間にも余裕があってとてもポジティブ。
常に新しい挑戦をしているし、雑談しているだけなのにビジネスの
ヒントやインスピレーションをもらえます。お互いアドバイスしあ
ったり、情報交換したり。

情報交換目的で会ってるわけではなくて、純粹に仲良く語ってるだ
けでお互い成長できるという関係性がまた良いのですよね。

わたしもたくさんの先輩起業家さんのおかげがあって、ここまで来
ることができました。ここに書ききれない方々にもとてもお世話に
なりました。

今度はわたしがその立場に立って、憧れられる存在でなければな
と思うようになり企画した1つが、当時のアカデミー生5人が参加し

てくれたドバイ旅行でした。

なんとそのとき来てくれたメンバー全員が、今は自分のビジネスで独立しています。当時は会社員でなんとか2日間だけ合流する時間つくってとか、お金がないけどこんなチャンス滅多にないのでそれまでに稼ぎますとか、行くって行ってしまったのでなにがなんでも参加するためにがんばりましたなどと言ってくれて、一気にステージを上げたメンバーたちです。

いや〜すごいですよね。全てが規格外のドバイの空気を感じた経験は、相当今後の人生にも影響与えてくれたと思います。

他にもタイを旅行中の友達とシンガポールで合流したり、美容医療の話で盛り上がったりと、自由を楽しんでいる女性たちと過ごすのは本当に楽しいです。なにより自由でいるほどに、パートナーシッ

プも上手くいっている夫婦はとて多いです。

何度も言いますが、仕組みの力というのは精神の安定をもたらしてくれました。精神論やスピリチュアルではなく、論理的にやるべきことが明確だからこそ再現性ある自由になる方法だと確信しています。

精神の安定は、人生を楽しむことにもつながっていきます。

起業家、フリーランスと称していても、実際には自転車操業で来月来年はどうなるかわからない、過去のわたしもそうでした。

一度だけ100万を稼いで賞賛されるよりは、毎月安定して30万、50万の方がずっといいです。大事なのは仕組みを持つビジネスオーナーの働き方をしているかどうかなのです。

小さくでもいいので仕組みによる収入がつくれたら、そこから先はその仕組みを大きくしたり、敢えて効率の悪いことをやってみたり、はたまた新しいことに挑戦をしてみたり。

仕組みという安定があるからこそ、余裕が生まれて他のことをできます。現状維持は衰退とありますが、今やっている仕事だけで精一杯だとそこから先の進化ありません。

あとは時間がないと、急なお金持ちからのお誘いにも乗れませんしね。チャンスを掴むには、暇であることが大事なのだと思うシーンを幾度となく経験してきました。笑

この真理に辿り着くまでわたしもずいぶんと時間とお金を費やしてきましたが、もしインターネットのない時代に生まれていたら、気付けないままだったでしょう。資本主義の真理を知る、一握りのビ

ジネスオーナーの元で一生労働を続けていたと思います。

そう思うと、本当に幸せな時代に生まれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

10章「平凡で周りの目ばかり気にしていたわたしが変わった2つの理由。資本主義の真理。」

改めて自分の人生を振り返ってみると、平凡な人生を抜け出して本当に自由になれたポイントは大きく2つ。

1つ目は本来の自分が好きなものに気づけたこと。私の場合なら、子どもの頃から夢中になっていたインターネット独特の世界で、自

分自身が救われたことが今の仕事の原点でした。

何よりブログ読者のみなさまの存在が、自分の価値に気づかせてくれました。

元々は世間や親の目ばかり気にして、就職先やバイトですら親が怒らないかなー喜んでくれそうかなーと、いつも他人軸で生きていました。

それがビジネスを始めたことで、自分が夢中になれることをやればやるほど結果としてお金も入って来ることを知りました。

そして2つ目は、資本主義社会の本質を学んだこと。最初のきっかけはアマゾン転売で気づいた、この世のゆがみでありバグでした。

時給ではない働き方がこの世に存在するということ。同じ金額を稼ぐなら短い時間の方がいいに決まっている。余った時間を楽しんだり、また別のビジネスを始めてみたり。

もっといえばアマゾン自体、わたしがせっせと出品するたびに手数料を得て、1秒も働くことなく稼いでいるわけですから。

汗水垂らして働くだけが正義ではなく、自分がプラットフォームになる、オリジナル商品を持つ、そしてそれを働かなくても売れる仕組みをつくる。

要はいかにしてシステムや人を管理する立場になるかということなのです。

政治でも SNS でも多数決で正解が決まってしまうようなこんな世の中だけど、本当に大切なことはごく少数にしか知られていなくて、この女性起業の世界でも仕組みを持っているマイノリティーだけが本当の自由を手に入れているのだと思います。

これからは好きなことを仕事にしたい人ほど、労働・ビジネスオー

ナーどちらも選べる仕組み作りが必須です。仕組みがあるから、あえての労働を選ぶこともできます。

大多数の意見じゃなくて、自分の頭で考えて、自分が正しいと思う道を進む。

ちょっとくらい失敗したっていい、最初から上手くいかなくてもいい。その代わり正しい知識を身につけた上で、普通の人がやってないことをとにかく始めてみるのが、最高の人生を手に入れる秘訣なのです。

受験も就活も失敗して、すっかり人生のルールから外れてしまったなあなんて思っていたわたしを救ってくれたのは、まさかのネットの世界でした。

ネットのせいで成績が落ちて怒られてたのに。笑

大人になったら自由じゃなくなるなんて思ってたけど、それも嘘でした。大人になるほどに自分でなんでも選べるから、どんどん世界は広がっていく。欲しいものが自分の意思で買えるようになる。欲しいものが高いのなら、自分も価値提供をしてお金を稼げばいい。どうすればより多くの人に価値を届けられるのかなあ？それを考えるのがまたおもしろい。

一般常識なら節約してお金を貯めて、身の丈に合った生活をしまし
ようねってなるところだけど、そうじゃなく夢を叶えている人を探
し続けてよかった。

その道が存在するはずって諦めなくてよかった。

あなたはどんな人生を送りたいですか？

ピンチはチャンス。やばいなー、このままでいいのかなーって危機
を感じたときこそ、新しい働き方を見つけるタイミングなのかもしれ

れません。

わたしのこれまでのストーリーが、少しでもあなたの勇気になれば
嬉しいです。